

災害時の地方自治体への支援について

令和6年度能登半島地震における 中国地方整備局のTEC-FORCE活動概要について

令和6年3月

国土交通省 中国地方整備局
防災室・災害対策マネジメント室

災害名 【被災エリア】 (災害概要)	中国地方整備局のTEC-FORCE活動概要		
	活動班	活動規模	活動の特徴
<p>梅雨前線豪雨【山口県など】 (6月30日以降、梅雨前線が西日本に停滞し、各地で大雨となった。最大1時間降水量が山口県下関市豊田で100ミリを超えたほか、総降水量が山口県で600ミリを超えた。また、島根県や山口県で線状降水帯が発生し、各地で浸水被害が発生した。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リエゾン ・先遣班(兼地域支援班) ・被災状況調査班(ヘリコプター、河川、道路) ・応急対策班(給水機能付散水車、排水ポンプ車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣人数のべ 131人・日 ・災害対策用機械 4台派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策用ヘリコプター映像の首長とのリアルタイム共有 ・断水エリアへの給水支援 ・TEC-FORCE地域支援班による復旧復興へ向けた支援
<p>台風第7号【鳥取県、岡山県】 (8月15日13時頃に兵庫県明石市付近に再上陸した台風7号による豪雨により、鳥取県、岡山県を中心に記録的な大雨となった。15日は鳥取県と岡山県に線状降水帯が発生し、鳥取県では大雨特別警報が発表された。岡山県鏡野町恩原、鳥取県鳥取市佐治では日降水量が年間の極値を更新し、各地で浸水被害が発生した。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リエゾン ・先遣班 ・被災状況調査班(ヘリコプター、河川、道路、橋梁) ・応急対策班(排水ポンプ車、Car-SAT、照明車、散水車・路面清掃車) 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣人数のべ 196人・日 ・災害対策用機械 10台派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策用ヘリコプター映像の首長とのリアルタイム共有 ・自治体の迅速な災害復旧の着手に向けた技術的支援(早期確認型査定) ・橋梁班による落橋箇所への技術的支援(応急組立橋)
<p>令和6年能登半島地震【石川県能登半島】 (令和6年1月1日石川県能登地方を震源とする最大震度7(M7.6)、5強の地震が連続して発生し、日本海側に大津波警報が発表された。この地震による石川県での家屋全壊は7,748棟、死者241人などの被害となった。(令和6年3月5日14時00分現在、被害は総務省消防庁による))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先遣班 ・被災状況調査班(河川、砂防、道路、港湾空港) ・現地支援班(給水機能付散水車、照明車、待機支援・対策本部車) ・高度技術指導班(水道、道路、港湾) ・待機支援車班 	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣人数のべ 1,743人・日 ・災害対策用機械 14台派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国から被災地支援のためTEC-FORCE隊員を長期派遣中(中国地整からは実人数235名) ・停電が長期にわたる避難所等へ、照明車を電源車として派遣し、被災者への電源支援を実施

TEC-FORCE活動状況はR6.2.29時点
上記のほか、5月のG7広島サミット、1月の山陰雪害において
もTEC-FORCE派遣(リエゾンのみを含む)を行っています。

令和5年6月30日からの大雨に対する整備局の自治体支援について

※7月13日現在最終



- 梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり、山口県で線状降水帯が発生し、各地で浸水等の被害が発生。
- 発災直後より災害対策用ヘリコプターによる広域の被災状況調査を行い、映像を自治体首長とリアルタイム共有。
- 水道施設被災により大規模な断水が発生した山口県美祢市に給水機能付き散水車を派遣。
- 山口県内の地方公共団体へTEC-FORCE等を派遣し、リエゾン活動、給水支援、河川・道路施設被災状況調査の実施、応急措置及び復旧方針への技術的助言等の復旧・復興へ向けた支援を実施。

・派遣人数
のべ 131人・日
災害対策用機械
4台派遣

■リエゾンによる情報支援

- リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、支援内容の調整等を実施



支援ニーズ等の聞き取り(山口県宇部市)

■災害対策用ヘリコプター映像の首長とのリアルタイム共有

- 浸水箇所等の広域被災状況調査を行い、映像を被災自治体(美祢市市長ほか)とリアルタイム共有



JR美祢線
鉄橋被災箇所



調査映像をリアルタイム共有(山口県美祢市)

■給水支援活動

- 水道行政移管に先駆け、緊密な情報共有と支援を実施



給水機能付き散水車による給水活動の支援
(山口県美祢市)

■自治体が管理する公共施設の被災状況調査と応急措置及び復旧方針への技術的助言

- 道路、河川の公共施設等の被害箇所を調査し、結果を自治体へ報告



道路の被災状況調査(山口県美祢市)



河川の被災状況調査(山口県美祢市)

- 新技術活用による調査の効率化



被災箇所の3D点群データ取得と解析、
結果の自治体への説明(美祢市)

- TEC-FORCE地域支援班による復旧復興へ向けた支援活動を実施



先遣班(兼 地域支援班)による復旧工法に
関する技術的助言(美祢市秋吉町)

・ホットラインの実施、リエゾンの派遣

- ホットライン実施状況 鳥取県、島根県、山口県の19市8町に実施
- リエゾン実施状況 島根県庁、出雲市、山口県庁、山口市、宇部市、防府市、美祢市 の2県庁 5市に派遣



リエゾンによる支援ニーズ等の聞き取り(山口県宇部市)

- 派遣期間 7月1日～9日
- 派遣人数 のべ26人・日

・被災状況調査班 (ヘリコプターグループ)

- 派遣期間 7月2日、14日
- 調査人数 5人、3人体制
- 活動内容 災害対策用ヘリコプターによる山口県上空からの調査、映像伝達



「おりづる」による調査



被災状況調査



復旧へ向けての技術的助言

・被災状況調査(先遣班 (兼地域支援班)、河川班、道路班)

- 派遣期間 7月3日～10日
- 派遣人数 のべ96人・日 派遣日数 8日
- 活動内容 山口県美祢市における公共土木施設の被災状況調査、復旧へ向けての技術的助言など



美祢市長へ調査報告書を手交

・応急対策班 (排水ポンプ車)

- 派遣期間 7月8日～13日
- 派遣台数 排水ポンプ車 3台
- 活動内容 鳥取市、山口市、宇部市内の排水支援



排水ポンプ車による排水作業(山口県山口市)

・応急対策班 (給水機能付き散水車)

- 派遣期間 7月1日～11日
- 派遣台数 散水車 1台
- 活動内容 美祢市内の給水支援



給水機能付き散水車による給水活動の支援(山口県美祢市)

○台風7号に伴う大雨の影響により、鳥取県東部を中心に甚大な被害が発生し、**鳥取市等にTEC-FORCE (16班のべ187人・日)を派遣して被災状況調査を実施。**

○被災状況調査にあたっては、Car-SATやドローンを積極的に活用し、迅速かつ効果的な被災情報を取得し、自治体に報告。

○また、鳥取県からの要請を受け孤立集落解消に向けた道路啓開作業に必要な照明車や大型土のう用の土砂を提供。

・派遣人数
のべ **196人・日**
・災害対策用機械
10台派遣

■リエゾンによる情報支援

○リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、被災情報の提供・収集等を実施



リエゾンによる防災ヘリ映像の提供(岡山県庁)

■災害対策用ヘリコプター、Car-SATによる調査

○ヘリサット、Car-SATを用いて、上空や車上から広域の被災状況調査を行い、現地状況の調査映像を自治体とリアルタイムで共有



災対ヘリによる広域調査(鳥取県鳥取市)



現地映像配信の様子

調査映像をリアルタイム共有(鳥取県鳥取市)

■大型土のう用の土砂提供

○大型土のう作成のため、5,000袋分の土砂を提供



河原スノーステーション
(鳥取河川国道事務所)

■自治体が管理する公共施設の被災状況調査

○河川、道路の公共施設等の被害箇所を調査し、結果を自治体へ報告



河川・道路の被災状況調査(鳥取県鳥取市)



ドローンでの被害状況調査(鳥取県鳥取市)

■排水支援活動

○倉吉市の要請により天神川水系国府川にて内水排除対応を実施



排水ポンプ車・照明車による排水活動の支援
(鳥取県倉吉市)

■照明車による啓開支援

○孤立集落解消に向けた夜間作業支援のため照明車を派遣



照明車による照射で照度確保
(鳥取県鳥取市佐治町)

令和5年台風7号による大雨に対するTEC-FORCE活動

※8月31日(最終版)



・ホットラインの実施、リエゾンの派遣

- ホットライン実施状況 鳥取県、岡山県、3市5町、1村に実施
- リエゾン実施状況 鳥取県庁、鳥取市、岡山県庁 の2県庁1市に派遣
- 派遣期間 8月15日～18日 (※鳥取県では、本局を含め全自治体とオンラインで災害対策会議を実施)
- 派遣人数 のべ9人・日



オンラインでの会議(鳥取県)



鳥取市との打合せ

・被災状況調査班(ヘリコプターグループ)

- 派遣期間 8月16日、19日、29日 (※19日は鳥取県知事等の首長も同乗)
- 調査人数 のべ5人・日
- 活動内容 災害対策用ヘリコプターによる鳥取県、岡山県上空からの調査、映像の伝達



「おりづる」による調査



ドローンによる被災状況調査(岡山県鏡野町)

・被災状況調査(先遣班、河川班、道路班、橋梁班)

- 派遣期間 【鳥取県鳥取市】8月16日～8月26日、【岡山県鏡野町】8月16日、18日
- 派遣人数 のべ166人・日 派遣日数11日 (※鏡野町は10人・日)
- 活動内容 鳥取県鳥取市における、早期査定に向けた被災状況調査。岡山県鏡野町における、落橋による仮橋設置に関する状況調査。



鳥取市長に調査結果を説明、手交(鳥取県鳥取市)

・応急対策班(排水ポンプ車)

- 派遣期間 8月15日
- 派遣台数 排水ポンプ車 2台
- 派遣人数 のべ1人・日
- 活動内容 倉吉市市内の排水支援



排水ポンプ車による排水作業(鳥取県倉吉市)

・被災状況調査(Car-SAT)

- 派遣期間 8月18日～19日
- 派遣台数 Car-SAT 1台
- 派遣人数 のべ4人・日
- 活動内容 現地状況の映像配信



Car-SATの活動状況(鳥取県鳥取市)

・応急対策班(照明車)

- 派遣期間 8月17日～31日
- 派遣台数 照明車 5台
- 派遣人数 のべ7人・日
- 活動内容 鳥取市佐治町の啓開支援



照明車による支援(鳥取県鳥取市)

・応急対策班(散水車・路面清掃車)

- 派遣期間 8月18日、26日
- 派遣台数 散水車 1台
路面清掃車 1台
- 派遣人数 のべ4人・日
- 活動内容 鳥取県八頭町の路面清掃



散水車(鳥取県八頭町)

TEC-FORCE職員派遣は本局のほか中国5県の各事務所から
計235人(実人数)のべ1,743人・日派遣しています。

■先遣班

派遣期間：1月5日～2月26日
派遣先：北陸地整 災害対策本部
派遣人数：のべ189人・日
活動内容：災害対策本部との調整・報告



北陸地整 災対本部

■被災状況調査班

(砂防班①～③、道路班①～⑥、港湾空港班①・②、河川班①)

派遣期間：1月 7日～2月26日 [道路①・⑤・⑥]
1月 9日～2月26日 [砂防①・②・③、道路②・③・④]
1月17日～1月20日 [港湾①・②]
2月 1日～2月 7日 [河川班①]
派遣先：輪島市 [道路①・②・③・④・⑤]
能登町 [砂防①・②・③、道路⑥、河川班①]
七尾市 [港湾①・②] 珠州市 [港湾①]
派遣人数：のべ1,245人・日
活動内容：輪島市、能登町、七尾市、珠州市における被災状況調査等



道路班



砂防班



港湾空港班



河川班

■現地支援班

(給水機能付き散水車、照明車、待機支援・対策本部車)

派遣期間：1月4日～2月29日
派遣先：石川県志賀町、能登町、珠州市
派遣人数：のべ178人・日 災害協力企業：40社
活動内容：計14台派遣

給水機能付き散水車：志賀町、能登町の給水支援
照明車：珠州市の電源支援
待機支援・対策本部車：派遣職員の現地支援



給水支援



電源支援(照明車)



待機支援・対策本部車

■高度技術指導班(水道班)

派遣期間：1月8日～2月19日、派遣先：志賀町
派遣人数：のべ86人・日、活動内容：被災した水道施設の復旧支援

■高度技術指導班(道路班)

派遣期間：1月12日～19日、派遣先：石川県
派遣人数：のべ8人・日、活動内容：被災した道路施設の復旧支援

■高度技術指導班(港湾班)

派遣期間：2月1日～、派遣先：北陸地整 災対本部
派遣人数：のべ21人・日、活動内容：被災した港湾施設の復旧支援

■待機支援車班

派遣期間：1月22日～2月6日、派遣先：北陸地整 災対本部
派遣人数：のべ16人・日、活動内容：待機支援車の運用オペ

令和6年能登半島地震に対する国土交通省の対応

※ 令和6年2月26日 14:00時点 速報値

・TEC-FORCE派遣人数 のべ22,331人・日
 ・災害対策用機械等 のべ 5,031台・日

- 令和6年1月1日(月)石川県能登地方を震源とする最大震度7、5強の地震が連続して発生し、日本海側に大津波警報が発表された。
- 北陸地方を中心に43市16町4村と**ホットラインを構築**し、被災地支援のため各地(北陸、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州地整、北海道開発、沖縄総合、北陸信越、北海道、東北、関東、中部、近畿、神戸、中国、四国運輸、東京・大阪航空局、地理院、国総研、土研、建研、港空研、気象庁、国土交通本省)から**TEC-FORCEを派遣**。
- 断水となった地域へ**給水機能付散水車による給水支援**や(独)水資源機構が保有する**可搬式浄水装置を投入**。また資材調達要請に応えた**物資支援**を実施。
- 停電が長期にわたる避難所等へ、**照明車を電源車として派遣し、被災者への電源支援**を実施。
- 被害全容の迅速な把握のため、国交省が所有する**防災ヘリ4機(ほくりく号、みちのく号、あおぞら号、きんき号)**と**Car-SAT3台**による**広域被災状況調査**を実施。
- **被災状況調査**では**道路、河川、砂防、海岸、鉄道、港湾、空港、地理情報**の調査を実施。また、**建築物の応急危険度判定**を実施。
- **災害対策用機械(照明車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車、排水ポンプ車、バックホウ、Ku-SAT)**を派遣し、各地の**被害に対する応急対策等**を実施。

■ 照明車による電源支援

- 国交省所有の照明車を停電中の避難所へ接続、給電する電源支援を実施



避難所へ照明車からの電源支援(石川県珠洲市)

■ 給水機能付散水車、可搬式浄水装置による給水支援

- 断水となった地域へ、給水機能付き散水車による給水支援を実施中
- 水資源機構所有の可搬式浄水装置2台を投入し浄水活動を実施中



給水機能付散水車による給水支援(石川県ほくり市)



可搬式浄水装置の設置(石川県珠洲市)

■ 物資等の支援活動

- 不足する物資等の支援活動を実施



港湾作業船を使った飲料水支援(石川県七尾市)

■ リエゾン・JETTによる情報支援

- リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、被災情報の提供・収集等を実施



珠洲市長へ支援ニーズの確認(石川県珠洲市)

■ 自治体が管理する公共施設の被災状況調査

- 隊員による道路、河川、砂防、港湾、空港等の公共施設等の被害を調査中
- 上空や車上から広域の被災状況調査を行い、調査映像を自治体と共有



道路の被災状況調査(石川県内灘町)



防災ヘリによる広域調査(石川県能登半島)



ドローンを使った3次元データ作成(石川県輪島市)

個別資料_リエゾンの活動

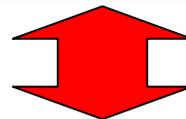
リエゾンとは

- リエゾン(災害対策現地情報連絡員)は、被災地方公共団体の被害状況や支援ニーズを把握し、被災地等災害対策本部に情報伝達を行うほか、被災地等からの情報や TEC-FORCE 等の支援メニュー等に関する情報提供。
- 被災地で活動する様々な災害対応機関と連絡調整を行うとともに、必要に応じた臨機の対応。
- 警察・消防・自衛隊等の人命救助にあたる各機関との情報共有、政府への対応、被災地方公共団体への高度な技術的助言等。

令和6年能登半島地震でのリエゾンの活動

- 地震発生直後から、石川県庁や輪島市、珠洲市等の被災自治体にリエゾンを派遣し、自治体の被災情報や支援ニーズを把握し、支援調整を実施。
- 得られた情報を災害対策本部に速やかに報告し、迅速な自治体支援につないでいる。

災害対策本部
(TEC-FORCE総合司令部)



リエゾン派遣人数:2月26日現在
4県13市町へ 延べ2,466人・日

リエゾンの情報により、迅速な自治体支援につながっている。

TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)

リエゾン



物資支援、被災状況調査等の自治体支援



○全国の地方気象台等から派遣された気象庁職員が、発災直後から、政府現地対策本部や自治体の災害対策本部において、現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、地震活動の状況や今後の気象の見通し等のきめ細かな解説を行い、自治体や各関係機関の防災対応を支援。



石川県災害対策本部員会議における気象解説
(石川県庁)



政府現地対策本部の
実動機関に対する気象解説
(石川県庁)



石川県道路整備課へ
道路規制に係る気象情報の三一ズ把握
(石川県庁)



志賀町災害対策本部会議における気象解説
(石川県志賀町役場)



珠洲市で活動する各機関に対する気象解説
(石川県珠洲市役所)



航空利用機関へ
へリ運航に係る気象情報の三一ズ把握
(石川県庁)

- 全国の地方整備局等から派遣されたTEC-FORCE隊員等は、発災直後から現地入りし、道路陥没等によって通行不能となった県、市町管理の道路の被災状況調査と緊急復旧を行い、孤立の解消や支援物資等の輸送路を確保
- 本復旧に向けた、高度な技術指導も実施

■自治体が管理する道路の被災状況調査



道路の被災状況調査(石川県輪島市)



大谷トンネルの被災状況調査
(石川県珠洲市 国総研、土研)

■緊急復旧(道路啓開)



照明車を活用した昼夜を徹した道路の緊急復旧
(石川県輪島市)



建設業者と連携した道路の緊急復旧
(石川県輪島市 関東地整)

■緊急復旧後の災害復旧支援車両等の利用



緊急復旧後の災害復旧支援車両等の利用
(石川県能登町)



緊急復旧後の災害復旧支援車両等の利用
(石川県能登町)

個別資料_空港施設の復旧支援・空港運用支援

- 滑走路等が被災した能登空港の早期復旧のため、本省、地方航空局、国総研からTEC-FORCE隊員を派遣し、被害状況調査や応急復旧の方針の検討、応急復旧を実施。
- 発災翌日から救援ヘリの受入れを行っており、災害救援活動の拠点として能登空港を円滑に運用するため、本省、地方航空局より空港運用の経験を有するTEC-FORCE隊員を派遣し、空港運用時間の拡大対応など石川県の空港業務を支援。

■ 空港施設の被災状況調査



■ 応急対応の実施



■ 空港運用支援



■ 本復旧に向けた助言等



○のと鉄道の被災に対し1月9日～10日にTEC-FORCEが、RAIL-FORCE（（独）鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊）と共に、現地調査や技術的助言を実施。1月18日～ TEC-FORCEが、復旧作業支援のための連絡調整等を実施

○JR西日本 七尾線の被災に対し1月11日にTEC-FORCEが、現地調査を実施



- 余震や降雨に伴う二次災害の発生を防ぐため、全国の地方整備局から派遣されたTEC-FORCE隊員による調査を実施し、調査結果を自治体に報告。
- 河道閉塞が確認された輪島市市ノ瀬町、熊野町等では、石川県からの要請を受け、土砂災害専門家(国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所)を派遣し、本復旧に向けた技術的助言を実施。

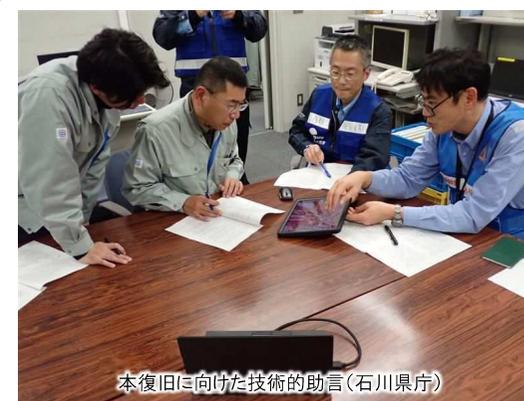
■被災状況調査



■監視カメラの設置



■土砂災害専門家による調査、助言



- 全国の地方整備局等から派遣されたTEC-FORCE隊員等は、県管理施設における余震や降雨に伴う二次災害の発生を防ぐため、河川、ダム、海岸施設の点検を実施。
- 本復旧に向けた、高度な技術指導も実施。

■施設の被災状況調査



■本復旧に向けた助言等



- 厚生労働省、日本水道協会と連携し、職員を被災地へ派遣、水道施設の早期復旧に向けて支援を実施。
- 下水道施設の早期復旧に向けて、地方自治体、下水道関連団体と連携し、下水道技術者を被災地へ派遣し、早期復旧に向けた方針立案支援等を含め支援を実施。

■施設の被災状況調査

水道



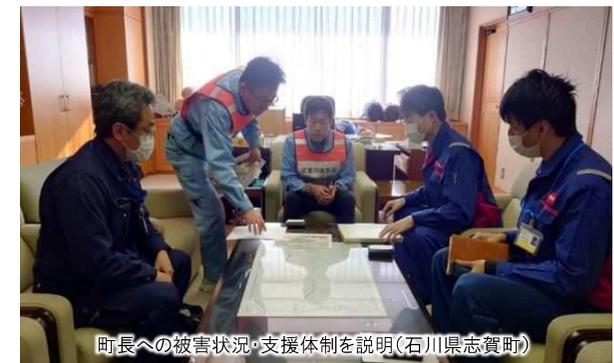
下水道



■応急対応の実施



■本復旧に向けた助言等



関係機関と連携した散水車を活用した給水支援

- ・北陸地方整備局のほか東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の計8地方整備局、21台の給水車により給水支援を実施。
- ・石川県庁に設置した「水道支援チーム」による日本水道協会、自衛隊等と連携した派遣先調整。
- ・被災地のニーズを受け、飲料水のほか洗濯用水、仮設トイレ等に給水を実施。
- ・水資源機構が珠洲市に設置した「可搬式浄水装置」2台により1月12日から飲料水供給拠点として供給中。



東北地整（輪島市）
（移動式ランドリーカー）



北陸地整（輪島市）
（トイレトレーラー）



四国・九州地整（志賀町）
（富来活性化センター）



中部地整（かほく市）
（かほく市役所）



近畿地整（中能登町）
（レクトピアパーク）

珠洲総合病院（珠洲市）における連携
珠洲市、DMATの要請により、透析も行う珠洲総合病院への給水を日本水道協会、自衛隊と連携し実施。

関東・東北地整等、給水支援（珠洲市）（珠洲総合病院）

中部・中国地整（能登町）
（能登町役場）

可搬式浄化装置（水資源機構）

近畿地整（七尾市）
（七尾港より市内）

東北地整（七尾市）
（自衛隊入浴施設給水）

【凡例】
■：日水協、自衛隊、国交省等の関係機関が連携して給水

※石川県の他は、富山県水見市においても給水支援を実施

出典：国土地理院地図
厚労省公表資料より1月31日までの状況として作成

○石川県輪島市、珠洲市、能登町、新潟県新潟市等において、被災建築物応急危険度判定を早急に実施するため、TEC-FORCEを派遣。

■ 判定前の準備



■ 判定の実施



■ 判定後の掲示



○都市局職員によるTEC-FORCEを派遣し、大規模火災や液状化、建物倒壊等が発生した市町の被災状況調査、資料収集等、事業相談を実施。

■TEC-FORCE隊員による情報支援



首長との意見交換(石川県内灘町)



首長との意見交換(富山県水見市)



堆積土砂排除事業及び都市災害復旧に向けた調整(石川県)

■被災状況調査



(石川県輪島市)



(石川県金沢市)



(石川県志賀町)

照明車を活用した電源支援について

■ 停電が長期にわたる避難所等へ、1/6より国土交通省の**照明車を電源車として最大33台派遣し、被災者へ電源支援。輪島市、珠洲市の11カ所において電源支援を実施。**

珠洲市:旧本小学校(1/6~7)、第三長寿園(1/7~19)、勤労者センター(1/8~14)、粟津ビニールハウス(1/9~11)、元気の湯跡(1/9~15)、

珠洲市役所(1/19~29)、旧柏原保育園(1/20~24)

輪島市:港公民館(1/7~19)、道下集会所(1/8~18)、浦上公民館(1/8~12)、劔地原子力防護施設(1/8~29)



避難所への給電接続作業
(輪島市 劔地、浦上、道下、港)



電源車が配置され応急対応が完了
(輪島市 浦上公民館)



商用電源の通電で応急対応が完了
(輪島市 港公民館)

■ 電源支援箇所数
輪島市:4箇所 珠洲市:7箇所



家電製品 (スマートフォン) に電力供給
(珠洲市 第三長寿園)



電源供給により停電を解消
(珠洲市 旧本小学校) 20

個別資料_ヘリ、Car-SATによる広域被害調査

○ヘリコプター及びCar-SATにより、CCTV等の通常監視ができない地域について、海岸沿いの土地隆起や山間部等の土砂災害状況把握のため、広域被害調査を実施。



○通信が遮断・困難な被災地や山間部等における通信手段の確保や、災害現場の状況把握のため、衛星通信車やKu-SATを派遣し、通信の支援を実施。



Ku-SATによる被災状況の監視
(石川県輪島市)



Ku-SATによる被災状況の監視
(石川県輪島市)



輪島市役所職員による被災映像確認
(石川県輪島市)



衛星通信車による通信手段の確保
(石川県穴水市)



Ku-SATによる小屋ダムの計器監視
(石川県珠洲市)



Ku-SATにおける渋滞状況の監視
(石川県七尾市)